



補習校だより

平成26年度 第21号

平成26年9月27日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

土曜日 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

前期通知表

校長 永井 晋

今週は前期終業式を行います。子供たちにとってみると、前期通知表が手渡される日です。本校は、前期の通知表では各教科の評定は出さず、観点のみの評価です。その各教科の観点別の数字（評価）も大切な物ですが、子供たちと一緒に前期を振り返ってあげてください。その上で、後期の目標を立てる手伝いをお願いします。前期は夏休みが間に入り、また、補習校の行事もそれほどない学期ですが、振り返る材料はたくさんあります。まず、学年が一つ上がったこと。もう半年前のことですが、学年が上がったことで当然学習内容も難しくなります。お子さんはそれにきちんと対応できていますか。行事が少ないということは言い換えれば落ち着いて学習に取り組める時期でした。宿題や家庭学習に取り組めたでしょうか。夏休み中はどうでしょう。一日一日を有意義に計画的に過ごすことは出来ましたか。日本での体験入学など夏休みでなければ出来ない貴重な体験は出来ましたか。夏休み明けは現地校で学年が上がる時期です。新しい先生や人間関係にはもう適応できていますか。補習校とのバランスはいかがですか

このように、前期にはたくさん思い返してみる必要があります。それを踏まえて後期はどう過ごすのか、お子さんと一緒に考えてあげてください。「がんばる」という一言では終わらせず、何をどういつがんばるつもりなのか、ゴールはどこなのか、一緒に頭を悩ましてあげてください。そして、答えは子ども自身が出せるよう、その手伝いをしてあげてください。決して「こうしなさい」と親の考えを押しつけるだけで終わらせないでください。

現地校と補習校の二重生活は子供たちにとっては過酷なことです。しっかり目標を持って補習校での一日を過ごさないと、そのうちに目標を見失い補習校での生活が辛く苦しいものになってしまいます。ご家族のサポートが一番大切です。褒め、励まし、時に厳しく見守って補習校と現地校の両立がいつまでも続くように子供たちのサポートをお願いいたします。

